

叢知

《学校教育目標》

「志をもち、主体的に挑戦し、未来を切り拓く生徒の育成」

～夢・挑戦・協働 三中～

「黄金色の麦畑とともに」

若葉の緑が深まり、初夏の爽やかな風が心地よい季節となりました。学校周辺では、黄金色に実った麦が三日月の大地を鮮やかに彩り、実りの季節の訪れを感じさせてくれています。

今月は体育大会を開催し、生徒たちは仲間と励まし合いながら、競技や応援に全力で取り組みました。一人ひとりの真剣な姿や仲間を支える温かな声かけに、大きな成長を感じることができました。今後も、生徒たちの挑戦や協働を大切にしながら、教育活動の充実に努めてまいります。

◆育友会総会開催 ～温かなご支援に感謝～

5月14日、夜間のご多用な時間帯にもかかわらず、多くの保護者の



皆様にご参加いただき、育友会総会が開催されました。総会では、令和7年度の活動報告・決算の承認をはじめ、令和8年度の役員人事案、活動方針、予算案等についてご審議いただき、すべて承認されました。



育友会会員の皆様には、日頃より本校教育活動に対し、多方面にわたり温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。令和7年度も、役員の皆様の献身的なご尽力と、会員の皆様お一人お一人のご協力のおかげで、本校の教育活動を円滑かつ充実したものとして推進することができました。

なお、令和8年度の活動方針等につきましては、総会冊子に詳しく掲載されておりますので、ぜひご覧ください。今後とも、今西会長様を中心に、教職員と連携しな

がら、子どもたちの健全育成のためご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◆青春の鼓動が響いた 第63回体育大会

5月17日、第63回体育大会では、4つの縦割り団が互いに



競い合いながらも励まし合い、三中生らしい団結力と熱気あふれる姿を見せてくれました。競技では最後まであきらめず全力を尽



くし、応援では仲間へ懸命に声援を送り続ける姿が随所に見られ、生徒一人ひとりの成長を感じることができました。大会スローガン「BREAK THE LIMIT ～響け 青春の鼓動 駆け抜けろ 勝利の先へ～」のとおり、自分の限界に挑戦し、仲間とともに達成感を味わう素晴らしい体育大会となりました。また、実行委員を中心に準備や運営、片付けまで責任をもって取り組む姿にも、三中生の頼もしさが表れていました。温かいご声援をいただいた来賓・保護者・地域の皆様、誠にありがとうございました。



○体育大会の主な成績

・分団対抗	第1位	黄分団	第2位	紫分団
・パネル	第1位	紫分団	第2位	赤分団
・応援合戦	第1位	赤分団	第2位	青分団
・総合得点	第1位	黄分団	第2位	赤分団

育友会本部・広報部・父親部の皆様のご尽力により、体育大会を無事成功裏に終えることができました。心より感謝申し上げます。

◆「人権講話 ～感謝の気持ちを忘れずに～」

5月19日、瀬戸先生を講師に、人権講話を実施しました。講話では、前任校の特別支援学校で出会われた、



医療的ケアを必要とするAさんとの関わりについてお話しいただきました。Aさんは小学生の頃、高熱による難病脳炎を患い、会話や身体による意思表示が難しい状態となりました。日常生活では看護師による医療的支援が必要であり、食事も胃ろうによって行われていました。

瀬戸先生は当初、「かわいそう」という思いを抱いていたそうです。しかし、Aさんは成長とともに、笑う、泣く、声を出すなど、少しずつできることを増やしていきました。その姿に、ご本人やご家族は大きな喜びと幸せを感じておられたといえます。



講話の中で瀬戸先生は、「幸せの形は一つではなく、人それぞれにある。悩みや苦しみがあっても、自分らしい幸せを見つけたい。そして、支えてくれる周囲の人への感謝の気持ちを忘れないでほしい」と生徒たちに語りかけられました。

生徒たちにとって、人権について考え、自分や周囲の人を大切にすることをみつめ直す貴重な学びの機会となりました。

◆「つながりを深める『三中タイム』」

昨年2学期から開始した「三中タイム」へのご理解とご協力、ありがとうございます。今年度も定期的に実施しており、5月20日には「二者択一」に取り組みました。



当日は、三日月小学校の先生方5名にも参観いただき、生徒たちが互いの考えを尊重しながら意欲的に交流する様子を見ていただきました。本活動は、班で自分の考えや思いを伝え合う「仲間づくり」を基盤に、「コミュニケーションスキルの向上」や「新たな価値観との出会い」を目的として行っています。自己開示や他者理解を大切にし、『今日のポイント』を意識しながら、誰もが安心して話せる場づくりに努めています。

友人関係に不安を抱える生徒をつなぎ、多様性を認め

合う風土を育むことで、生徒同士のコミュニケーションの壁を低くすることにつながっています。

◆「優しさが輝く『ミカツキング・ミカツクイーン』」

毎月実施している生活アンケートにあわせ、本校では、クラスメイトの思いやりのある言動を互いに紹介し合う「認めて、ほめる活動」に取り組んでいます。友達のよさに目を向け、感謝の気持ちを言葉にすることは、自己肯定感や他者理解を高め、温かな人間関係づくりにつながる大切な教育活動です。

5月25日には、生徒会生活部より4月分の集計結果が発表され、今年度第1回「ミカツキング・ミカツクイーン」が紹介されました。「いつも明るく挨拶をしてくれる」「落ちていた物を拾ってくれた」「困っているときに助けてくれた」「優しく声をかけてくれた」など、多くの感謝の言葉が寄せられました。今後も、互いのよさを認め合い、思いやりあふれる学校づくりを進めていきます。

〈3年 ミカツキング・ミカツクイーン〉

鐘ヶ江美奈美さん、小田光志朗さん、野口晴さん、横尾陽咲葵さん、鎌上泰地さん、吉田啓汰さん

〈2年 ミカツキング・ミカツクイーン〉

小野颯介さん、富永翔太さん、本田佳奈さん、久保実さん

〈1年 ミカツキング・ミカツクイーン〉

中尾龍登さん、三溝由莉さん、佐藤健琉さん、松尾風輝さん

◆教育相談期間中です。 5/25～6/2

新年度が始まり、早くも2か月が過ぎようとしています。新しい学級や友達、学習や部活動など、それぞれがさまざまな思いや悩みを抱えながら学校生活を送っていることと思います。



現在、本校では教育相談期間を設け、担任の先生を中心に生徒一人ひとりの話を聞く機会を大切にしています。

うれしかったことや頑張っていることはもちろん、不安に感じていることや困っていることも、一人で抱え込まずに先生方へ話してほしいと思います。皆さんが安心して学校生活を送れるよう、学校全体で支えていきます。

◆表彰 がんばりました！おめでとう！！

○第8回佐賀県中学校スケッチ大会

・特選 相原那美

・入選 平山明音、今村愛理、坂口陽奈、坂口結奈、三塩星花